

## 平成29年度 (旭高等学校) 不祥事ゼロプログラム実施状況

## ○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上(公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む)	○法令を遵守し、公私の別を明らかにして、生徒・保護者・県民の信頼を得る。	○法令遵守、教育公務員としての立場を自覚して責務を果たす意識についてチェックシートによる確認研修を実施したところ十分に信頼を得られる結果であり、目標を達成できた。
わいせつ・セクハラ行為の防止	○職員間や生徒に対する、わいせつ・セクハラ行為を起こさせない意識を醸成する。	○通知に関連して確認を行った。生徒のアンケートで「わいせつ・セクハラ行為」についての事実はなかった。
体罰、不適切な指導の防止	○体罰や不適切な指導を絶対に行わない意識を高め、未然に防止する。	○通知に関連して確認を行った。生徒のアンケートで「体罰・不適切指導」についての事実はなかった。
入学者選抜関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	○マニュアル及び採点方法について当日の実施体制を確認し、適正は入学者選抜に臨む。	○教科代表者、さらに職員全体に対してマニュアルの説明だけでなく、シミュレーションを行う研修を3回実施した。採点方法の実施体制及び適正な入学者選抜に臨むことができた。
成績処理関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	○成績処理、及び調査書の作成に係るチェック体制を確認し、記載ミスを未然に防止する。	○成績処理の方法及び調査書作成にあたっては、事前の打ち合わせ及びチェックシートによる確認研修を実施した。職員の意識の高まり及びチェック体制の充実により記載ミスを防止できた。
進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	○書類作成のミスを無くす。 ○個人情報の取り扱いに留意する。	○3学年の職員を中心に朝の打ち合わせで繰り返し確認と注意喚起を行った。職員の意識の高まり及びチェック体制の充実により記載ミス等を防止できた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策(パスワードの設定、誤廃棄防止)	○個人情報等の分類を明確にするとともに情報セキュリティ対策を周知し個人情報等の事故を未然に防ぐ。	○個人情報の取扱い及び情報セキュリティ対策についてチェックシートによる確認研修を実施したところ個人情報及び情報セキュリティに対する職員の意識は高いことが確認できた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	○交通法規を遵守するとともに、酒酔い・酒気帯び運転をしない職場の雰囲気を作る。	○交通法規遵守及び酒酔い・酒気帯び運転についてチェックシートによる注意喚起の研修を実施したところ酒酔い・酒気帯び運転等に対する職員の意識は高いことが確認できた。
業務執行体制の確保等(情報共有、相互チェック体制、業務協力体制)	○業務執行体制を確立し、補完する。	○業務執行体制の確保について、チェックシートによる確認研修を行ったところ情報共有、相互チェック体制等が確立されていることが確認できた。

会計事務等の適正執行	○私費会計について、「私費会計事務処理の手引き」に基づき、適正な執行方法を学び、私費の会計ミスゼロにする。	○私費会計について適切な執行方法や手続きなど記載例をもとに研修を行った。適正な執行手続き及びチェック体制が確立され、私費会計に係るミスを防止できた。
部活動に係る事故防止	○部活動中の事故を未然に防止することと同時に、実際に起こったときの対応方法を習得する。	○外部から救急救命士を招き、部活動等における事故に対する実技研修を実施した。また、エピペンの使用についても実技研修を実施した。職員は、事故防止の意識が高まり、事故対応に、積極的に関わり行動できるようになった。
推薦会議に係る事故防止	○推薦条件や出願基準日の誤りを防ぐとともに、適切な選考を行う。	○推薦会議に係るグループ及び学年を中心に選考に係る基準や資料の確認作業を手引きに基づき徹底して行い、適切な選考を行うことができた。
行政文書の保存期間について	○一般文書と行政文書の違いを理解するとともに、保存期間を確認し、誤廃棄を防止する。	○行政文書の保存期間について文書廃棄の時期に合わせて説明及び廃棄手順等のチェック体制を整えた、誤廃棄を防ぐとともに廃棄文書保管場所の整理により保存期間の再確認ができた。

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

様々な研修方法・形態を工夫したことにより職員の事故防止に対する意識や気づきが高まり不祥事の防止につながったと考える。

平成30年度については、より業務の多忙化が想定されるが、一層研修方法や研修形態の工夫により効果的な研修を行い事故防止に努め、不祥事ゼロを目指していく。